

第77回卒業式・762名が卒業しました！

3月16日(土)第77回の卒業式を実施し、台帳番号・第一9074号〜19235号までの162名の卒業生が巣立ちました。第77回卒業生は、大変まとまりがあり、オンオフのメリハリがある素晴らしい学年だったと思います。また先生方と生徒たちの仲が良く、深い絆で結ばれていたようにも



思います。答辞では、元生徒会長の濱松さんが、仲間や先生との思い出の他、保護者への深い感謝の思いを述べてくれ、とても心が動きました。卒業生の皆様からは記念品として長机をいただきました。大切にに使わせていただきます。卒業生の皆さん、四月からは各進学先でご活躍ください。



答辞・濱松優菜さん



橋田市長(左)と榎本教育長(右)のご挨拶



安藝PTA会長の挨拶ではシャッターチャンス演出も…



本校の横看板はとても素敵です！



入退場時の吹奏楽の演奏も見事でした！



装飾に麦を飾りました！

卒業生たちの姿・清新の雲を投影したいと思つての装飾です。今回は偶然にも、卒業生保護者の黒木様に分けていただくことができました。感謝申し上げます▼趣旨は異なりますが、松尾芭蕉が旅立ちの際に詠んだ、麦にちなんだ歌があるそうです。(校長 伊東泰彦)

麦の穂を 便りにつかむ 別れかな

三真の轍 わたち

卒業式考 卒業証書授与式で受け取った証書を見返す機会などあまりないと思いますが、証書の最後に直筆で書かれている「卒業番号」にも、実は重い意味があると感じさせられた式でした▼私自身も本校の第35回生で卒業番号は第10427号です。今回の式で壇上から挨拶した四名は、榎本教育長が第30回、橋田市長が第21回、PTAの安藝会長も第40回の卒業生で、いずれも本校の卒業生台帳に名を連ねています。こうした歴史のバトンを受け継ぎながら、4名の先輩卒業生が、校長、教育長、市長、PTA会長というそれぞれの立場から後輩の卒業生にメッセージを送るという偶然の演出に、妻中ならではの伝統の重みを感じました▼また、写真にも写ってますが、今回はステージ装飾に麦を飾りました。まっすぐに伸びている緑の穂に、これから飛躍していく卒業生たちの姿・清新の雲を投影したいと思つての装飾です。今回は偶然にも、卒業生保護者の黒木様に分けていただくことができました。感謝申し上げます▼趣旨は異なりますが、松尾芭蕉が旅立ちの際に詠んだ、麦にちなんだ歌があるそうです。(校長 伊東泰彦)

立志式を開催！（2年生）



各事業所での学びを発表する様子

立志の誓いを各生徒が述べてくれました

2月29日（木）、2年生を対象とした立志式を実施しました。立志という言葉は、江戸時代の思想家・橋本左内の啓発録に由来すると言われています。2年生の皆さんもぜひ大きく成長してください。

切と考え、今の自分と向き合いながら将来について考える機会としています。橋本左内は「志を立てる」の他に、「稚心を去る」「学に励む」等の誓いも立てています。2年生の皆さんもぜひ大きく成長してください。



「ふるさと西都のお仕事図鑑」を初制作！（1年生）

本年度のさいと学の一環として、1年生が「ふるさと西都のお仕事図鑑」を制作してくれました。これは「ふるさと西都で暮らし・働く魅力」を探っていく学習のまとめとして制作するもので、市内の45の事業所に直接出向いてインタビューするなどしてその魅力をまとめたものです。実際に地域の課題解決や社会貢献に尽力されている事業所の方々の姿や思いに触れることで、多くのことを感じ、学び取ったようでした。これをもとに、次年度は実際に職場で体験をし、三年時にはさいと学アワードに向けた探究を進める予定です。事業所の皆様方、ご協力誠にありがとうございました。



埋蔵文化財センター出前授業実施！

3月に入り、1年生の社会科の時間を使って宮崎県埋蔵文化財センターによる出前授業を行っていただきました。専門の先生方による分かりやすいお話や模型の解説などが聞け、本県の古代～中世にかけての知識を具体的に深めることができました。



美術の時間の制作品紹介

「西都モンスターズ丼」1年・杉田凜華さん

西都名物のうなぎやピーマン、マンガーなどをモンスターに見立てて制作！

